

所 管 事 務 調 査 報 告

平成 29 年 1 1 月 2 9 日

薩摩川内市議会総務文教委員会
委員長 帯 田 裕 達

1 調査事項

- (1) 総務事務について
- (2) 防災行政について
- (3) 学校教育について

2 調査先

東京都調布市、埼玉県草加市、群馬県伊勢崎市

3 調査日

10月18日から20日まで（3日間）

4 出席委員

帯田委員長、坂口副委員長、上野委員、永山委員、徳永委員、橋口委員、松澤委員

5 調査目的

職員の働き方改革で成果を出している取組や、災害に備えて特徴的な防災協定を締結している状況、また、地域と連携して積極的に学校づくりを進めている状況について調査し、本市における今後の施策展開の課題等を調査する。

6 調査概要

(1) 働き方改革の取組について（東京都調布市）

調布市では、平成26年度において、男性の育児休暇取得率が28%、また、職員の年次有給休暇の平均取得日数が13.3日で、東京都内26市中1位であったが、時間外勤務時間数は、都内26市中ワースト4位になるなど、時間外勤務時間数の縮減が課題となっていた。

そこで、短期的及び長期的な働き方改革に取り組み、変則勤務の試行や時間管理の意識を高めるため、タイムマネジメント研修の実施などを行った。特に、夜間の会議等に出席する場合には、変則勤務の七つある勤務形態のうちから、12時から20時45分までとする勤務形態を選択するなどして時間外勤務時間数の縮減に取り組んだ。

このような取組の結果、平成28年度には時間外勤務時間数は、対前年度比7,000時間縮減し、都内26市中11位になるまで改善がなされ、また、男性の育児休暇取得率は、平成27年度には91.7%で、都内26市中1位になるなど、様々な働き方が行われる組織風土が醸成されてきているとのことであった。

(2) 災害時応援協定の取組について（埼玉県草加市）

草加市では、昭和30年代以降の急速な都市化により、水田等が激減し、土地の保水能力が減少したことに伴い、水害が顕著に増加してきたため、昭

和57年から水害を想定した災害時応援協定を締結してきた。阪神淡路大震災以降は地震を想定した災害時応援協定の締結にも取り組み、とりわけ東日本大震災以降は協定締結数を激増させており、応援協定の内容も土木・建築・水道などの応急復旧や物資供給のみならず、動物の一時保護や司法書士・行政書士への相談、遺体安置や納骨に至るまで、市民の要請に対応できるよう非常にきめ細やかなものとなっている。このほか、自治会組織等が一斉に避難訓練を行うなど、地域自らが行う防災への取組も熱心に行われているとのことであった。

また、同市では地域防災計画に定めた目標や業務を実現するために、具体的な手順や手段、事前準備を防災業務計画として策定しており、「すべきこと」のうち「できること」を整理し、「できないこと」についてはできるようにするための対策を防災業務計画にまとめているとのことであった。

(3) コミュニティスクールの取組について（群馬県伊勢崎市）

伊勢崎市では、平成19年に市内の1小学校にコミュニティスクール（学校運営協議会）を設置し、現在では各中学校区（11校区）に1小学校ずつ設置している。学校運営協議会では、協議会の委員が授業を参観したり、学校支援ボランティアが講師として授業に参加することにより、子どもたちの様子を直接感じながら学校の取組が把握でき、学校運営の改善に生かされている。また、このような取組により、子どもたちが学ぶ楽しさを感じられるようになり、学校・家庭・地域の連携により教育の充実感が生まれている。教師にとっても地域と協働した授業の取組により、授業力の向上につながっている。

このように、同市では学校と地域が一体となって学校の課題解決のために取組もうとする機運が高まってきているとのことであった。

なお、現状において、学校と地域の連携を充実させ、更に学校運営に反映していくことや、学校運営協議会の委員が長期にわたり継続的に関わるのが難しいといった課題があるとのことであった。

7 所感

- (1) 調布市では、仕事と子育ての両立を支援する職場環境づくりを進め、大きな成果を挙げていることから、本市が働き方改革に取り組む上でも参考となる取組である。
- (2) 本市は、歴史的に水害に苦しめられてきたことや、原子力発電所の立地自治体であることから、水害、地震等を想定した避難計画が大変重要であり、水害や地震を想定し取り組んでいる草加市の施策は、本市にとって一つのモデルケースとすべきである。
- (3) 本市においても、伊勢崎市同様、地域資源を活用して、学校と地域が一体となった学校づくりに取り組むとともに、学校から地域を活性化させるような取組ができないか検討する必要がある。